

# 第21回 近畿小児結核症例検討会のご案内

わが国における小児結核症例は非常に稀少となっていましたが、一方で結核性髄膜炎など、重症化したのちに診断に至る例の登録も続いています。今後、外国出生小児からの発病例が増加することも懸念され、引き続き、**小児結核に関する正しい知識を持ち続け、感染・発病に至るリスクの高い子どもたちに有効な対策を適用するとともに、感染・発病例を早期に診断し、有効な治療を適用することは未だ重要な**であると考えます。

稀少となった小児結核症例について、感染・発病に至った背景要因や発病予防可能性、診断・治療に関わる課題を詳細に検討し、今後の対策、診療に活かすことを目的に近畿小児結核症例検討会を継続して開催しております。今年度も下記の通り、開催することを計画致しました。小児結核対策・診療に興味を持つて従事されている医療関係者の参加を歓迎致します。

\*\*\*\*\*

日時： 2026年1月31日（土） 午後1：30～5：00（予定）

場所： MEETING SPACE AP 大阪梅田東 <https://www.tc-forum.co.jp/ap-umeda-higashi/>

参加方法： 現地での参加（先着順80名）及びWeb参加

プログラム：

第1部 症例検討

過去1年間に登録された小児結核症例4事例についての検討を予定（1事例40分の予定）

第2部 情報提供

改訂された「BCGワクチン接種後コッホ現象への対応指針」の紹介

国立病院機構南京都病院 小児科 徳永 修

\*\*\*\*\*

参加を希望される方は、現地参加・WEB参加ともに事前申込が必要です。

【申込期限：令和8年1月21日（水）まで】

申込方法：①URLより <https://forms.gle/HZpoKY7U3DVH82AJA>

②右記2次元バーコードから

問い合わせは、事務局 [yokoyama.yuki.uh@mail.hosp.go.jp](mailto:yokoyama.yuki.uh@mail.hosp.go.jp)宛に、メールで

お送りください。件名の頭に必ず【近畿 問合】と入力してください。（1/28迄）

事務局：国立病院機構南京都病院 小児科 徳永修（[tokunaga.osamu.ut@mail.hosp.go.jp](mailto:tokunaga.osamu.ut@mail.hosp.go.jp)）

国立病院機構南京都病院 管理課 横山由紀（[yokoyama.yuki.uh@mail.hosp.go.jp](mailto:yokoyama.yuki.uh@mail.hosp.go.jp)）



本症例検討会は令和7年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）委託研究開発費「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発研究推進研究事業「結核低まん延状況における連携強化及び技術革新による結核対策に関する研究」（研究開発代表者：結核予防会結核研究所 所長 加藤誠也）の分担研究「超低まん延状況にある、わが国的小児結核の課題抽出、対策・診療の維持・向上に向けた研究」（分担研究者：国立病院機構南京都病院院長 徳永 修）の一環として開催するものです